

## 令和6年度第2回帯広市消費生活審議会 議事要旨

### 1 日 時

令和6年10月22日（火）15：30～16：30

### 2 場 所

帯広市役所10階 第2会議室

### 3 出席者

#### 【委員 7人】

前田委員（会長）、笹島委員、佐藤委員、谷村委員、南部委員、増本委員、村上委員

#### 【帯広市 8人】

吉田経済部長、三谷商業労働室長、高木商業労働課長、野崎商業労働課長補佐、  
屋仲労働消費係長、荻原主任補、三國事務員、浜田事務員

### 4 会議次第

#### (1)開会

#### (2)会長挨拶

#### (3)議事

##### ①報告事項

ア 帯広市消費者行政概要について

イ 第3期帯広市消費生活基本計画施策評価について

##### ②審議事項

第4期帯広市消費生活基本計画（原案）について

##### ③その他

#### (4)閉会

### 5 配付資料

資料1 帯広市消費者行政概要

資料2 第3期帯広市消費生活基本計画施策評価

資料3 第4期帯広市消費生活基本計画（原案）

資料4 第4期帯広市消費生活基本計画（原案）の概要

資料5 第3期帯広市消費生活基本計画からの主な変更点について

参考 第3期帯広市消費生活基本計画

参考 第3期帯広市消費生活基本計画の概要

### 6 議事要旨

(1) 議事①報告事項ア 帯広市消費者行政概要について、事務局から報告した。

委員からは、小売価格調査の公表方法について、ホームページの掲載以外の周知啓発は行っているのか質問があった。

事務局からは、ホームページ掲載内容の更新に合わせて Facebook による周知を行っているが、今後に向けて、周知方法を課題と受け止めたい旨を回答した。

(2) 議事①報告事項イ 第3期帯広市消費生活基本計画施策評価について、事務局から報告した。

委員からは、消費生活相談に対する助言・あっせん件数について、記載されている数値では相談員の努力が見えないため、別のよい表現ができるのではないかとの意見があった。

また、消費者訴訟の支援について具体的な内容について質問があり、事務局から説明した。

- (3) 議事②審議事項 第4期帯広市消費生活基本計画（原案）について、事務局から説明した。委員からは、わかりづらいカタカナ表記等の表現について、記載方法を留意してほしいとの意見があった。

事務局からは、国の取り組みなどに準じているものがあるため、記載を無視しづらいところもあるが、可能な限り注釈にわかりやすく記載するなど、伝わるような表現ができないか検討する旨を回答した。

また、委員からステルスマーケティングに対する取組内容について質問があった。

事務局からは、情報提供や消費者教育を通して、消費者自身が知識を身に付け、適切に判断、行動できるようになっていくための取り組みを計画の中に盛り込んでいる、と回答した。

事務局から、議事①報告事項 第3期帯広市消費生活基本計画施策評価中、消費生活相談に対する助言・あっせん等の記載方法に関する委員からの意見を踏まえ、資料3、21ページの基本方針Ⅲ（助言・あっせん率（消費生活相談の解決率））の見直しを検討したい旨を説明し、委員より了承を得た。

- (4) 議事③その他について、委員からの意見、質問等はなかった。

- (5) 閉会